

LISTEN.
THINK.
SOLVE.®

INTEGRATED PRODUCTION & PERFORMANCE SUITE



Performance & Visibility

FactoryTalk® View Machine Edition



インストールガイド

PUBLICATION VIEWME-IN003J-JA-E-May 2013

Supersedes Publication VIEWME-IN003I-JA-E



Allen-Bradley • Rockwell Software

Rockwell
Automation

**Rockwell への
お問い合わせ** カスタマー サポート電話番号 — 1.440.646.3434
オンライン サポート — <http://www.rockwellautomation.com/support/>

著作権情報 © 2013 Rockwell Automation, Inc. All rights reserved. Printed in USA.

本書およびそれに付随する Rockwell Software 製品の著作権は Rockwell Automation, Inc. が所有しています。Rockwell Automation からの事前の書面による承諾を得ずに、いかなる複製および配布を行うことは固く禁じられています。詳細については、使用許諾契約書をご参照ください。

商標情報 Allen-Bradley、ControlLogix、Data Highway Plus、DH+、Data Highway II、FactoryTalk、Logix5000、PanelBuilder、PanelView、PLC-2、PLC-3、PLC-5、Rockwell、Rockwell Automation、Rockwell Software、RSLinx、RSLogix、RSNetWorx、RSView、SLC、Studio 5000、VersaView、および XM は Rockwell Automation, Inc. の商標です。

ここに記載のない Rockwell Automation ソフトウェアまたはハードウェアもまた、Rockwell Automation, Inc. の登録またはその他の商標です。

その他の商標 ActiveX、Microsoft、Microsoft Access、SQL Server、Visual Basic、Visual C++、Visual SourceSafe、Windows、Windows ME、Windows NT、Windows 2000、Windows Server-、Windows XP、Windows 7、Vista は Microsoft Corporation の米国または他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Acrobat、および Reader は、米国およびその他の国々における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標のいずれかです。

Oracle は、Oracle Corporation の登録商標です。

ControlNet は、ControlNet International の登録商標です。

DeviceNet は Open DeviceNet Vendor Association Inc. (ODVA) の商標です。

その他すべての商標はそれぞれの所有者の財産であることをここに確認します。

保証 本製品は使用許諾契約に従って保証されます。製品のパフォーマンスはシステム設定、実行中のアプリケーションオペレータの制御、メンテナンスおよびその他の関連要因によって影響されることがあります。Rockwell Automation は、これらの介在要因については責任を負いかねます。本書に記載の指示は、装置、手順、または記述された工程のすべての詳細またはバリエーションを網羅するものではなく、またインストール、運用、または保守時における発生の可能性があるすべての不測の事態に遭遇した際の対処を提供するものではありません。この製品の実装はユーザーによって異なります。

本書は製品のリリース時において最新のものですが、付随のソフトウェアはリリース時以降に変更が発生していることがあります。Rockwell Automation, Inc. は、本書またはソフトウェアに含まれるいずれの情報も予告なしにいつでも変更することができる権限を有しています。本製品をインストールまたは使用する際には、ご自身の責任において Rockwell からの最新の情報をご入手願います。

バージョン: 7.00.00 CPR9 サービスリリース 6

2013 年 1 月

目次

ii • 本インストール ガイドの内容

FactoryTalk View マニュアルについて	vi
FactoryTalk View インストールでの情報の取得	vi
本マニュアルの保存場所	vii
その他のドキュメント	viii
FactoryTalk View オンライン マニュアルを開くには、以下の手順に 従ってください	viii
Rockwell Automation テクニカル サポートへのお問い合わせ	ix
Rockwell Automation テクニカル サポートに電話するときは	ix

1 • FactoryTalk View Machine Edition システムの基本

FactoryTalk View Machine Edition について	1
FactoryTalk View ソフトウェア	2
FactoryTalk View Studio for Machine Edition	2
FactoryTalk View Machine Edition Station for Windows	3
FactoryTalk Services Platform	3
FactoryTalk Administration Console	3
FactoryTalk Security	3
FactoryTalk Live Data	3
FactoryTalk Diagnostics	3
FactoryTalk Activation	4
接続性	4
RSLink Enterprise	4
RSLink Classic	4
FactoryTalk View DVD	5

2 • パソコンでの FactoryTalk View のインストールとアクティベート

システム要件	7
タスクの概要: FactoryTalk View ソフトウェアのインストール	8
FactoryTalk View のインストールのためのタスク チェックリスト	8
現在の Windows ユーザーが管理者権限を持っていることを確認 します	9
自動 Windows Update を無効にする	9
FactoryTalk View ソフトウェアのインストール	10
インストールするソフトウェア製品を選択する	12
FactoryTalk Activation	14

セットアップ ウィザードは該当する Rockwell Automation ソフトウェアをアンインストールします	15
ユーザー ID とシリアル番号	16
使用許諾契約書	17
ファイルの場所	18
完全またはカスタムのセットアップ タイプを選択します	19
SQL Server サインインまたはインストール	20
インストールする機能を選択する	22
インストールの準備完了	23
前提条件の自動インストール	24
必要な Rockwell Software のインストール	24
Faceplates and Add-On Instructions	25
インストール後の手順	27
製品アップデートのインストール	27
FactoryTalk View ソフトウェアのアクティベート	29
SQL Server 2008 Express インスタンスを作り直す	32
インストールのサマリ	32

3 • PanelView Plus、PanelView Plus CE および PanelView Plus 6 端末での FactoryTalk View ME Station の実行

システム要件	35
インストール	36
起動	36
自動起動	36
アプリケーションの実行	36
サンプルアプリケーションの使用	36
端末のアップグレード	39

4 • PC での FactoryTalk View ME Station の実行

システム要件	41
インストール	42
起動	42
自動起動	42
アプリケーションの実行	42
サンプルアプリケーションの使用	43

本インストールガイドの内容

本マニュアルでは FactoryTalk View Machine Edition (ME) の製品とシステム、インストール前にシステムで実行すべきタスク、詳しいインストール手順、FactoryTalk アクティベーションを使用してインストールした製品のライセンスを有効にする方法、アプリケーションを展開するためのタスク、および既存システムのアップグレード方法について説明します。

本インストールガイドの内容は、新しいシステムや既存のシステムでのインストール時に使用するであろう順序で表示されます。

- **FactoryTalk View Machine Edition の基本**では、FactoryTalk View Machine Edition (ME) システム (第 1 章) のソフトウェア コンポーネントやレイアウトについて説明します。
- **パソコンでの FactoryTalk View のインストールやアクティベーション**では、完全なインストール時に表示される画面を順に説明します (第 2 章)。
- **PanelView Plus Station で FactoryTalk View ME を実行するには**、Rockwell Automation 端末でのアプリケーションのインストールや実行に関する情報が含まれます (第 3 章)。
- **パソコンで FactoryTalk View ME Station を実行する**では、コンピュータでのアプリケーションのインストールや実行について説明します (第 4 章)。

FactoryTalk View マニュアルについて

FactoryTalk View インストール ガイドに加え、FactoryTalk View ドキュメント セットには以下が含まれます。

- **FactoryTalk View Machine Edition ユーザーズ ガイド**には、FactoryTalk View ME アプリケーションの設計および開発に関する包括的な情報が含まれています。

ユーザーズ ガイドは、FactoryTalk View Studio のヘルプ メニュー、セットアップ ウィザードを含むディスク、および Rockwell Automation 文書ライブラリから PDF 形式で利用できます。

- **PanelView Plus Terminals ユーザーズ マニュアル**には、FactoryTalk View Machine Edition と互換性のあるすべての端末のインストール、設定およびプログラミングに関する情報が含まれます。

- **リリース ノート**。FactoryTalk View と支援ソフトウェアをインストールおよび使用する前に、リリース ノートをお読みください。

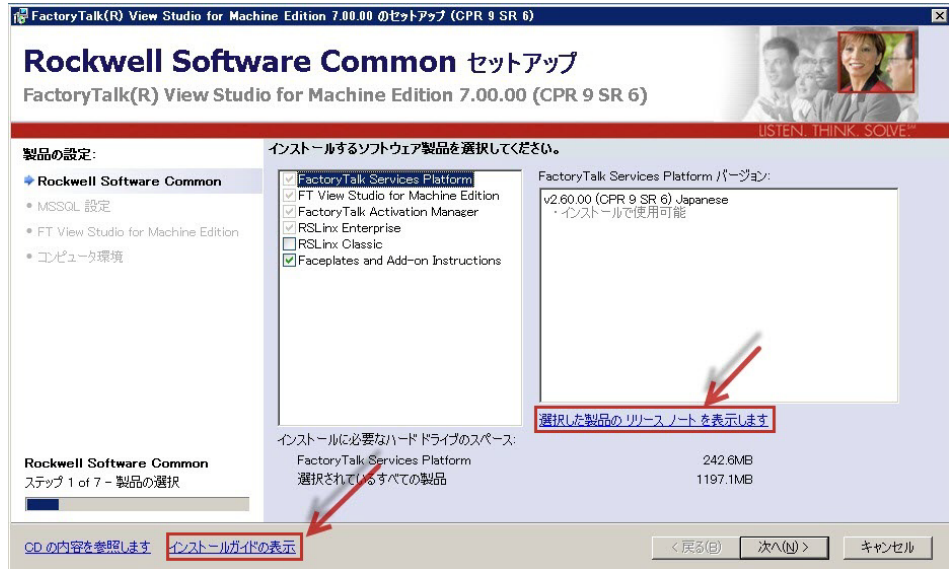
FactoryTalk View ME、FactoryTalk Services Platform (FTSP)、RSLinx Enterprise、および RSLinx Classic 用リリースノートは FactoryTalk View DVD からご利用いただけます。

- **オンライン ヘルプ**。オンライン手順および参照情報は、FactoryTalk View ME Studio のヘルプ メニュー および FactoryTalk View ME アプリケーションの開発に使用されるエディタおよびダイアログ ボックスから利用できます。

FactoryTalk View インストールでの情報の取得

インストール時に表示されるほとんどのダイアログ ボックスには [View インストール ガイド] の選択肢が含まれます。[View インストール ガイド] をクリックするとインストール ガイド PDF ファイルが開きます。

また、更新プログラムやプログラム機能に関する最新情報を含む、アプリケーションのリリース ノートを開くこともできます。この画面で、[インストールするソフトウェア製品を選択] ボックスの品目を選択してから、[選択した製品のリリース ノートを表示する] をクリックします。



本マニュアルの保存場所

インストール ガイドは、FactoryTalk View DVD、FactoryTalk View Studio のヘルプ メニューおよび Rockwell Automation 文書ライブラリから PDF 形式で利用できます。



文書ライブラリで、最新版のインストール ガイドおよびユーザズ ガイドを探すには、文字列「VIEWME」を含む発行番号を検索します。

その他のドキュメント

ドキュメント	説明
PanelView Plus 端末のユーザー マニュアル 2711P-UM006	PanelView Plus 6、PanelView Plus、 および PanelView CE 端末で FactoryTalk View ME をインストー ル、設定および使用するためのタ スクについて説明します。
アクティベートの方法 発行 FTA-QS002	システムのすべてのコンピュータ 用にアクティベーションを取得し、 インストールします。

FactoryTalk View オンライン マニュアルを開くには、以下の手順に従ってください

FactoryTalk View Studio for Machine Edition (ME) での作業中、FactoryTalk View Machine Edition ユーザーズ ガイド、インストール ガイド、およびリリースノートをオンラインで利用できます。

オンライン マニュアルを開くには、以下の手順に従ってください

1. FactoryTalk View Studio for Machine Edition を開きます。
2. [ヘルプ] メニューで [オンラインブック] を選択し、必要なマニュアルをクリックして開きます。



インストール時、オンライン マニュアルを表示できるように、Adobe Reader をインストールすることができます。Adobe Reader の使用に関しては、製品のドキュメントを参照してください。

Rockwell Automation テクニカル サポートへのお問い合わせ

マニュアルまたはインターネットで質問に対する回答が見つからない場合は、以下のいずれかの方法で、Rockwell Automation テクニカル サポートまでお問い合わせください:

- 電話: 1-440-646-3434
- オンライン: <http://support.rockwellautomation.com>

サポートの受付時間は、休日を除く月曜から金曜の午前 8 時から午後 5 時まで (米国およびカナダの現地時間) です。

Rockwell Automation テクニカル サポートに電話するときは

電話をおかけになる前に、コンピュータを起動させ、以下の情報をお手元に準備しておいてください。

- 製品のシリアル番号とプロダクト キーは、製品のソフトウェア DVD に同封されているアクティベーション証明書に記載されています
- FactoryTalk View 製品のバージョン番号
- FactoryTalk Services Platform のバージョン番号
- 接続性 (RSLinx Enterprise または RSLinx Classic) バージョン番号
- 使用しているハードウェアのタイプ
- コンピュータにインストールされている他の Rockwell Automation 製品の名前
- コンピュータに表示されたメッセージがある場合は、その正確な文言
- 発生した問題の状況、および問題が発生したときの操作内容
- 問題を解決するために実行した操作内容

•
•
• FACTORYTALK VIEW MACHINE EDITION インストール ガイド
•
•



FactoryTalk View Machine Edition システム の基本

FactoryTalk View (FactoryTalk View Machine Edition Station および FactoryTalk View Studio ME を含む) は、HMI アプリケーションの開発時間と研修時間を短縮できるように、共通の外観と雰囲気、ナビゲーションを使用して設計されたヒューマンマシンインターフェイス (HMI) ソフトウェア製品です。

Rockwell 自動化統合アーキテクチャをサポートする FactoryTalk View は、ネットワーク全体でスタンドアロンマシンレベルのアプリケーションを監視レベルの HMI アプリケーションへと広げるよう作られた監視および制御ソリューションの拡張可能かつ統合されたパッケージの一部です。このパッケージは生産性の向上、運営費の削減、および品質の改善を実現できるように、共通の開発環境、アプリケーションの再利用およびアーキテクチャを提供します。

FactoryTalk View には PC ベースの開発ツールである FactoryTalk View Studio for Machine Edition、FactoryTalk View Machine Edition Station for Windows、および FactoryTalk View Site Edition などが含まれます。

FactoryTalk View Machine Edition について

FactoryTalk View Machine Edition (FactoryTalk View ME とも言う) は、マシンや小型プロセス用のマシンレベルの HMI ソフトウェア製品です。FactoryTalk View Machine Edition は、PanelView Plus 端末や Windows デスクトップソリューションなどの複数のプラットフォームで一貫したオペレータインターフェイスを可能にします。

FactoryTalk View Studio ME は、コンポーネントベースのアーキテクチャやシングルタグの作成、接続性アプリケーションといった強力で信頼性の高いプロセス監視を構築するために必要なツールすべてを提供します。

FactoryTalk View ソフトウェア

FactoryTalk View Machine Edition は、コンピューターおよび PanelView Plus 端末上での HMI を開発および実行するための統合ソフトウェア パッケージです。

FactoryTalk View ME システムは単なる HMI 端末ではありません。RSLinx Enterprise や RSLinx Classic などの FactoryTalk Services Platform およびデータ通信製品も含まれています。

FactoryTalk View Studio for Machine Edition

FactoryTalk View Studio for Machine Edition (ME) は、FactoryTalk View ME HMI アプリケーションの開発および検証用の設定ソフトウェアです。FactoryTalk View Studio ME には、完全なアプリケーションを構築するためのエディタのほかに、構築したアプリケーションを検証するためのソフトウェアが含まれています。エディタを使用して、必要に応じて、単純な、または複雑なアプリケーションが構築できます。



FactoryTalk View Machine Edition Station for Windows

FactoryTalk View ME システムは、PanelView Plus 6、PanelView Plus、PanelView Plus CE、Rockwell 産業用コンピューターまたは対応する Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行中のその他の産業用コンピューター上で使用するためのサーバーをパッケージにした、従来のスタンドアロン HMI ソリューションです。7 ページの「システム要件」を参照してください。

FactoryTalk Services Platform

FactoryTalk Services Platform は、制御システム内で使用されるすべての FactoryTalk 製品とアプリケーション向けの共通のサービス (診断メッセージ、ヘルス モニタリング サービス、およびリアルタイム データへのアクセスなど) を提供します。

FactoryTalk Services Platform は自動的にインストールされます。

FactoryTalk Administration Console

FactoryTalk Administration Console は、複数のアプリケーションの開発、管理および保護のためのスタンドアロン ツールです。

FactoryTalk Security

FactoryTalk Security は、FactoryTalk Directory でのユーザー認証および許可権限を一元化します。

FactoryTalk Live Data

FactoryTalk Live Data は、FactoryTalk 製品とデータ サーバー間の接続を管理します。

FactoryTalk View ME アプリケーションにおけるデータ通信の詳細は、『FactoryTalk View Machine Edition ユーザーズ ガイド』第 5 章「通信のセットアップ」を参照してください。

FactoryTalk Diagnostics

FactoryTalk Diagnostics は、FactoryTalk システム全体で生成されたアクティビティ、ステータス、警告およびエラー メッセージへのアクセスを収集および提供します。

FactoryTalk Activation

FactoryTalk Activation サービスは Rockwell Software 製品をアクティブ化し、ソフトウェアのアクティベーション ファイルを管理する、セキュアなソフトウェアベースのシステムを提供します。詳細については、29 ページの「FactoryTalk View ソフトウェアのアクティベート」を参照してください。

接続性

アプリケーションのデータをどのように取得するかにより、インストールする通信ソフトウェアが決まります。

FactoryTalk View ME に同梱されている RSLinx Enterprise や RSLinx Classic ソフトウェアを使用するか、OPC (OLE for Process Control) 通信をサポートするその他のソフトウェアおよびデバイスを使用することができます。



RSLinx Enterprise FactoryTalk View アプリケーションでは自動的にインストールされます。FactoryTalk View ME に同梱されている RSLinx ソフトウェアや、OPC (OLE for Process Control) 通信をサポートするその他のソフトウェアおよびデバイスを使用することができます。

RSLinx Enterprise

RSLinx Enterprise は、FactoryTalk テクノロジーを使用して構築された通信サーバーで、FactoryTalk View Machine Edition アプリケーションの開発および実行を支援します。

Allen-Bradley ローカル デバイスおよびリモート デバイス - 特に Logix5000 コントローラと通信する場合 - RSLinx Enterprise は特に FactoryTalk View アプリケーション用のデータ通信ソフトウェアに推奨されます。

RSLinx Classic

RSLinx Classic は、Logix5000 などの幅広い範囲のデバイスに通信を提供するソフトウェアです。RSLinx Classic は、HMI タグ データベースまたは RSLinx Enterprise から FactoryTalk Live Data (FTLD) タグを提供できる OPC Data Access v2.05a 準拠データサーバーです。RSLinx Classic はパソコンでのみ使用できます。

例えば、RSLinx Classic をインストールして使用すれば、DH+ (Data Highway +) ネットワークからのデータの提供、複雑なブリッジングおよびルーティングのサポート、そしてコントローラから RSLinx への予期しないメッセージのサポートが可能になります。

FactoryTalk View DVD

FactoryTalk View DVD は、単一のコンピュータに限定されたローカル アプリケーション、またはネットワーク上で接続されている複数のコンピュータを含む分散制御システムの開発および実行に必要なすべてのソフトウェアを提供します。

ニーズによっては、FactoryTalk View アプリケーションの構造は工場またはプロセスの様々な部分を表します。これらの要件に対応するために、セットアップウィザードには次の FactoryTalk View programs プログラムが含まれています。

- Studio for Machine Edition
- Machine Edition Station for Windows
- スタンドアロン RSLinx Enterprise Server
- スタンドアロン FactoryTalk Directory server



また、セットアップウィザードプログラムから、追加の FactoryTalk View Site Edition アプリケーションをインストールすることができます。

2

パソコンでの FactoryTalk View のインストールとアクティベート

この章では、以下について説明します。

- システム要件
- FactoryTalk View Machine Edition および関連ソフトウェアのインストール
- FactoryTalk View ソフトウェアのアクティベート方法

システム要件

FactoryTalk View Studio ME を実行するための推奨要件は、以下のとおりです。

- **パソコン** Intel Pentium 4 プロセッサ (2 GHz 以上推奨)。
- **メモリ (RAM)**。1 GB (以上)、32 ビットシステム用 64 ビットオペレーティングシステムでは 2 GB 以上必要です。
- **ハードディスク領域**。1.5 GB 以上。
- **オペレーティング システム**。



FactoryTalk View Studio は、オリジナルの Microsoft メディアからインストールされたオペレーティング システムでのみ検証およびサポートされています。コンピューターベンダーによってインストールされたオペレーティングシステムについては、「ナレッジベース記事 26842」を参照してください。

オペレーティング システム	32 ビット	64 ビット
Windows 7 Ultimate (Service Pack 1)		X
Windows 7 Professional	X	X
Windows 7 Professional (Service Pack 1)	X	X
Windows 7 Enterprise Edition (Service Pack 1)		X
Windows Server 2008 R2 Standard Edition		X
Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition (Service Pack 1)		X

オペレーティング システム	32 ビット	64 ビット
Windows Server 2008 R2 Standard Edition (Service Pack 1)		X
Windows Server 2008 Standard Edition (Service Pack 2)	X	X
Windows Vista Business (Service Pack 2)	X	
Windows XP Professional (Service Pack 3)	X	
Windows Server 2003 R2 Standard Edition (Service Pack 2)	X	X

タスクの概要: FactoryTalk View ソフトウェアのインストール



オペレーティング システムを以前のバージョンから Windows XP Professional にアップグレードする場合は、アップグレード方法について Answer ID 29104 (旧称、技術文書 #P88739858) を参照してください。推奨する手順に従わないと、FactoryTalk View アプリケーションの構築や使用ができなくなります。

本セクションのチェックリストには、FactoryTalk View Machine Edition および支援ソフトウェアのインストールに含まれる基本タスクが要約されています。FactoryTalk View セットアップ ウィザードはインストール時に含めるアプリケーションとツールを自動判別します。

FactoryTalk View のインストールのためのタスク チェックリスト

- ソフトウェアをインストールするユーザーが Windows の管理者権限を持っていることを確認してください。
- 自動 Windows Update を無効にする。
- インストールまたはアップデートするすべての製品のシリアル番号を用意しておいてください。シリアル番号は一般的にインストール メディアのオリジナルパッケージに記載されています。
- インストール時に操作アプリケーションのアップグレードまたはコンピュータの置き換えを選択した場合のシステムの定期ダウンタイム。



現在の Windows ユーザーが管理者権限を持っていることを確認 します

インストールプロセスの一環として、FactoryTalk View はプログラム フォルダを作成し、レジストリ エントリを変更します。

このプロセスを成功させるには、ソフトウェアをインストールしているユーザーはソフトウェアがインストールされているコンピュータ上で Windows の管理者権限を持っている必要があります。

たとえば、Windows ドメイン管理者には、これらの権限があり、FactoryTalk View ソフトウェアをインストールすることができます。

自動 Windows Update を無効にする

Microsoft サービス パックのリリースおよび Windows オペレーティングシステムの更新をインストールすることは、コンピュータ上の FactoryTalk View ME コンポーネントの動作に影響を及ぼす可能性がある新しいソフトウェアを導入することになります。



すべてのプロダクションコンピュータで Windows Update を無効にしてください。Update は、実行中のアプリケーションのシャットダウンなど、予期せぬ動作を引き起こす可能性があります。

Windows XP および Server 2003 で自動 Windows Update を停止するには

1. Windows のコントロール パネルを開き、[システム] をダブルクリックします。
2. [自動更新] タブで、[自動更新を無効にする] オプションを選択します。

Windows オペレーティングシステムと Service Pack の互換性に関する詳細については、Rockwell Automation ナレッジベース Answer ID 20450 を参照してください。

Windows 7 の自動更新を停止するには、以下の手順に従ってください

1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [Windows Update] をクリックします。
2. 左列で [設定の変更] をクリックします。
3. [重要な更新プログラム] ドロップダウン リストで [更新プログラムを確認しない] を選択します。

4. [推奨される更新プログラムについても重要な更新プログラムと同様に通知する] チェックボックスを選択します。
5. [すべてのユーザーにこのコンピューターへの更新プログラムのインストールを許可する] チェックボックスをオフにします。


FactoryTalk View ソフトウェアのインストール

1. 必要があれば、すべての開いている Windows プログラムを閉じて、コンピュータの FactoryTalk View インストール DVD ドライブに DVD を挿入してください。

DVD が自動的に起動しない場合は、**D:\FTView\Setup.exe** を実行します。ここでは、D は DVD を含むドライブのことです。



- アップデートまたはインストールするコンピュータに対して **Studio for Machine Edition** または **Machine Edition Station for Windows** を選択します。これらは、アプリケーションへ適用されない FactoryTalk View Site Edition の追加オプションです。

 **Site Edition アプリケーションに関する情報は、『FactoryTalk View Site Edition インストール ガイド』に記載されています。**

2. チェックボックスをオフにしない限り、Adobe Reader がインストールされます。インストールガイド、ユーザズガイドおよびその他のドキュメントを開くには Adobe Reader が必要です。

3. リストから選択した後、セットアップ ウィザードには、インストールできるさまざまなソフトウェア製品が自動的に表示されます。選択して、[次へ]をクリックします。選択したアプリケーションによって、インストール手順が決定します。
4. 選択したアプリケーションのプロンプト画面に従います。インストールの一般的な順番:
 - インストールするソフトウェア製品を選択する
 - セットアップ ウィザードは該当する Rockwell Automation ソフトウェアをアンインストールします
 - ユーザー ID とシリアル番号
 - 使用許諾契約書
 - 前提条件の自動インストール
 - 必要な Rockwell Software のインストール
 - FactoryTalk Services Platform
 - FactoryTalk View Studio for Machine Edition
 - FactoryTalk View Machine Edition Station for Windows
 - FactoryTalk Activation Manager
 - Rockwell Automation USBCIP ドライバ (または Rockwell Automation x64 Driver for 64 bit system)
 - RSLinx Enterprise
 - RSLinx Classic (選択した場合)
 - Faceplates およびアドオンの説明 (選択した場合)
5. Factory Talk View Activation ソフトウェアを使用して新しいアプリケーションをアクティベートします。

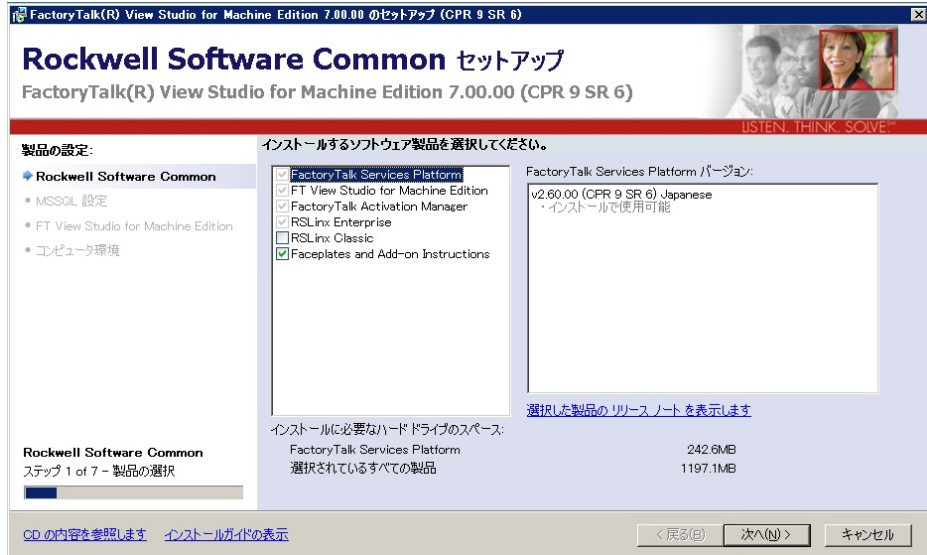


FactoryTalk View をはじめてインストールする場合は、FactoryTalk View インストール DVD に同封されているアクティベーション証明書のシリアル番号を確認してください。

インストールするソフトウェア製品を選択する

各 FactoryTalk View ME アプリケーションは、適切な基本的な Rockwell ソフトウェア製品とともに自動的にインストールされます。

インストール時、利用可能な場合はオプションのコンポーネントの選択を促すメッセージが表示されます。



[インストールするソフトウェア製品を選択してください]と表示されたダイアログ ボックスには、3つのオプションが表示される場合があります。

- **必須** (グレイアウトされ、チェックマークが入っている) ソフトウェアは、選択したアプリケーションの一部として自動的にインストールされます。
- **推奨** (チェックボックスに緑色のチェックマークが入っている) は、Rockwell がそのアプリケーションに対して推奨するソフトウェアを表します。チェックボックスのチェックマークを外し、インストールをしないよう選択することもできます。
- **オプション** (チェックボックスはオフ) は、システムによっては含める可能性のあるソフトウェアを表します。インストール時にソフトウェアを含めるには、ボックスにを選択します。

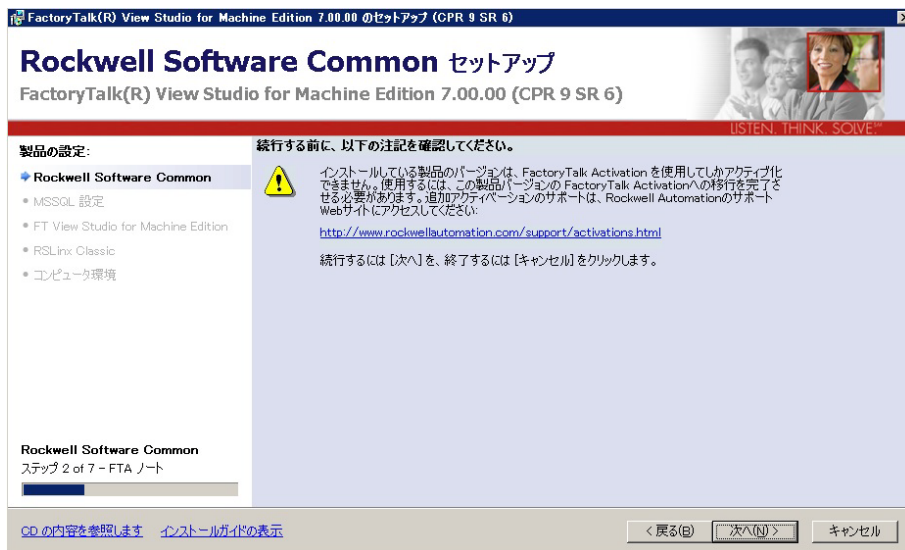
FactoryTalk View ME の各アプリケーションに対するソフトウェア製品の選択ダイアログ ボックスが下に表示され、選択可能な製品を示します。

いずれかのアプリケーションをクリックすると、右ウィンドウにステータスが表示されます。ステータスメッセージにはインストール予定、既にインストールされているかどうか、およびアップグレード予定であるなどがあります。

アプリケーション インストールする製品	Studio for Machine Edition	ME Station
FT View Studio ME	必須の	
FT View ME Station		必須の
Factory Talk Services Platform	必須の	必須の
FactoryTalk Activation Manager	必須の	必須の
RSLinX Enterprise	必須の	必須の
RSLinX Classic	オプション	オプション
Faceplates and Add-On Instructions	推奨	

FactoryTalk Activation

一部の製品では、FactoryTalk Activation Manager を使用してアクティベーションを行う必要があります。以前別のアクティベーション方法を使用した場合であっても、FactoryTalk Activation Manager を使用してすべての FactoryTalk 7.0 ソフトウェアをアクティベートする必要があります。



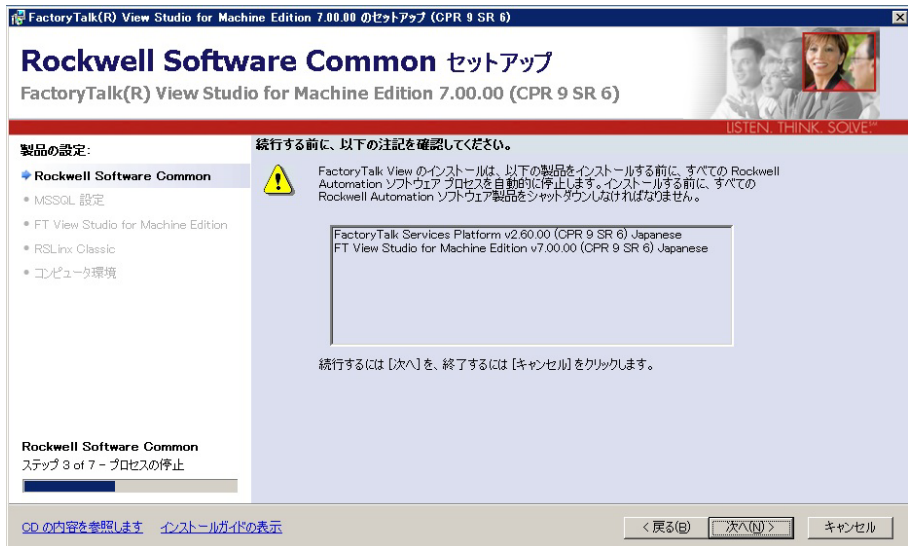
セットアップ ウィザードは該当する Rockwell Automation ソフトウェアをアンインストールします

インストールの間、セットアップ ウィザードは置き換える Rockwell Automation ソフトウェアを識別します。プログラムは以下のダイアログ ボックスに表示されているプログラムを自動的に終了します。



この手順では、プロセス アプリケーションをシャットダウンすることはできません。インストールまたはアップグレードしているアプリケーションによっては、工場自動化システムが操作不能となり、プロセスがシャットダウンされる可能性があります。このダウンタイムに対する準備と、会社のシステムのすべてがこれらのアプリケーションを終了させる準備が整っていることを確認してください。

[次へ] をクリックして先へ進みます。



ユーザー ID とシリアル番号

FactoryTalk View Studio ME をインストールする場合は、次にアプリケーションの管理者のユーザー情報を設定します。

FactoryTalk(R) View Studio for Machine Edition 7.00.00 のセットアップ (CPR 9 SR 6)

Rockwell Software Common セットアップ

FactoryTalk(R) View Studio for Machine Edition 7.00.00 (CPR 9 SR 6)

製品の設定:

- Rockwell Software Common
 - MSSQL 設定
 - FT View Studio for Machine Edition
 - RSLinx Classic
 - コンピュータ環境

以下の情報を入力してください

ユーザー名(U):
RockwellAutomation

組織(O):
RockwellAutomation

シリアル番号(S):
123456789

Rockwell Software Common
ステップ 4 of 7 - 顧客情報

CD の内容を参照します インストールガイドの表示

<戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

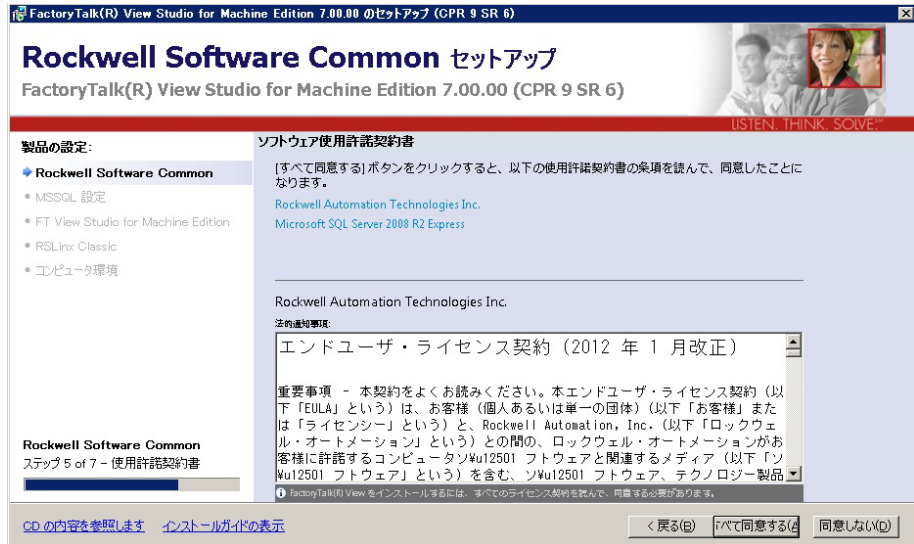
ユーザー名および組織はすべてのインストールにおいてオプションであり、必須ではありません。シリアル番号から、購入いただいた FactoryTalk® View のバージョンがわかります。アクティベーションキーを取得し、テクニカルサポートへ電話するには有効なシリアル番号が必要です。有効なシリアル番号を入力しなければ、インストールを進めることはできません。シリアル番号情報は製品パッケージに記載されています。

シリアル登録情報を入力し、[次へ] をクリックします。

使用許諾契約書

使用許諾契約書 (EULA) には、権利と責任が記載されています。

インストールされているアプリケーションによって、このページに複数の使用許諾契約書が表示される場合があります。個別の使用許諾契約書は、テキストボックスの上に表示されます。

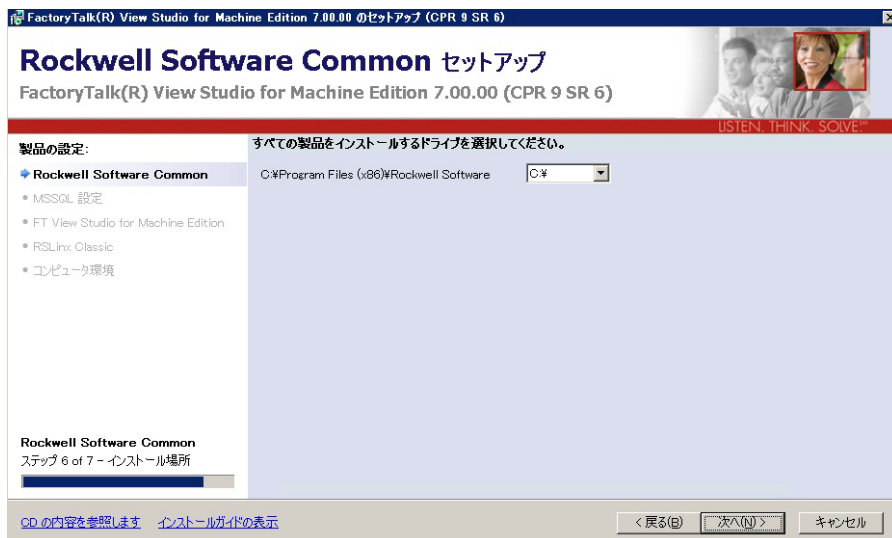


一部のソフトウェア製品は、各使用許諾契約書の条件に合意しない限り、提供または利用できません。

1. ダイアログボックスの一番上の使用許諾契約書を選択します。表示し、注意深く読みます。
2. 各使用許諾契約書に対してこれを繰り返します。
3. すべての使用許諾契約書を読んだら、[すべて同意する]をクリックします。[同意しない]をクリックするとインストールプロセスを中止します。

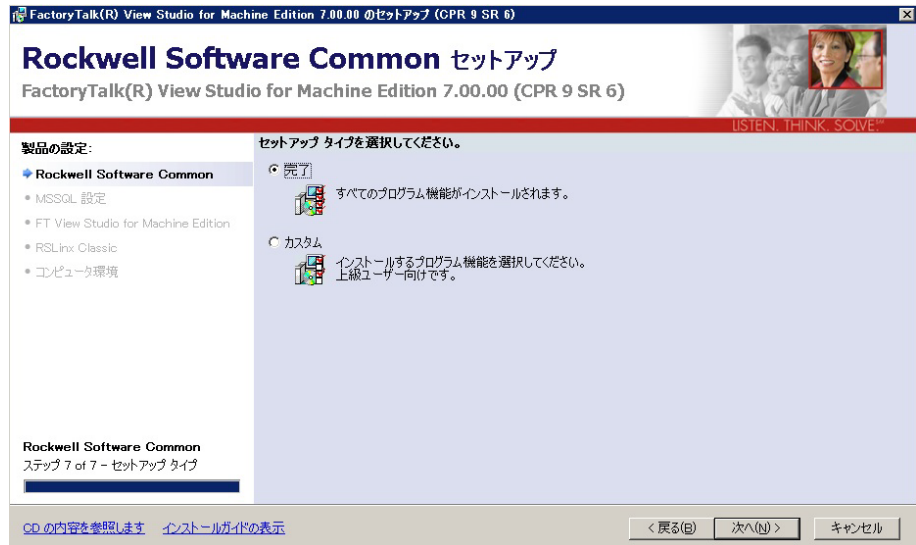
ファイルの場所

Rockwell Automation ソフトウェアの場所を選択します。必要に応じて、プルダウンメニューを選択して別のドライブの場所を参照します。



完全またはカスタムのセットアップタイプを選択します

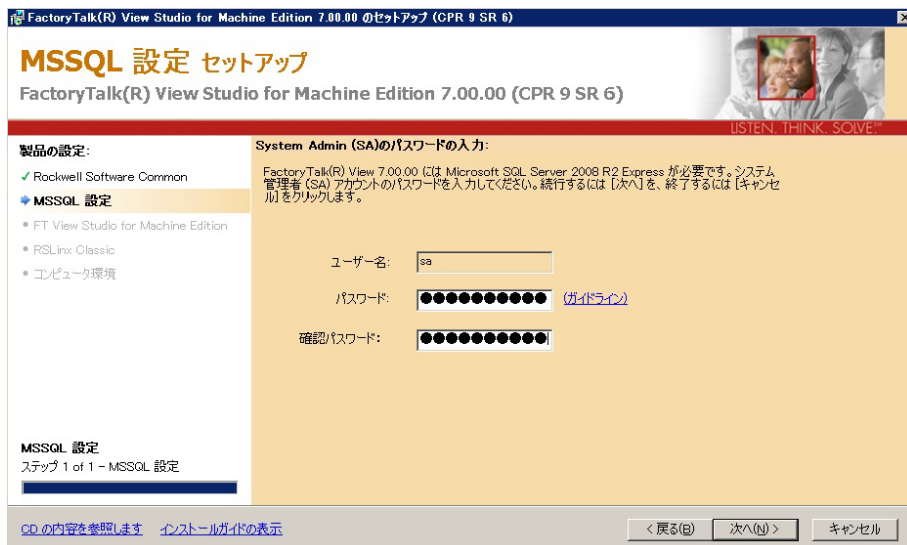
このダイアログボックスでは、アプリケーションのインストールに最も適したタイプを選択できます。



- **を完了すると**、セットアップ ウィザードで利用可能なすべてのコンポーネントをインストールします。
- **カスタム**のを使用すると、Rockwell ソフトウェア セットアップ手順の間にヘルプやデモ アプリケーションなどのオプションのコンポーネントを選択できます。

SQL Server サインインまたはインストール

インストールの間、セットアップ ウィザードはコンピュータで互換性のある SQL サーバーが利用可能かどうかを決定します。



Microsoft SQL Server 2008 R2 Express または Standard version *FTVIEWx64TagDB* インスタンスがローカルに存在する場合、セットアップ ウィザードは SQL 構成ステップをスキップします。

まだインストールされていない場合、セットアップ ウィザードに新しいパスワードを促す画面が表示され、上記のパスワードを検証するよう求められます。後から使用するときのために必ずパスワードを記録しておくようにしてください。

新しいパスワードは**強力なパスワード**でなければなりません。ダイアログボックスの [ガイドライン] をクリックし、強力なパスワードの要件を確認します。



強力なパスワードのガイドライン

強力なパスワードは他人によって容易に推測されず、コンピュータプログラムを使用して容易にハッキングできません。強力なパスワードには以下の禁止条件を使用することはできません。

- 空白または NULL 条件
- パスワード
- Admin
- 管理者
- sa
- sysadmin

強力なパスワードに、インストール コンピュータと関連付けられる以下の条件を使用することはできません。

- 現在マシンにログイン中のユーザー名
- コンピュータ名

強力なパスワードは 8 文字以上で、以下の 4 つの条件のうち 3 つ以上を満たさなければなりません。

- 大文字を含む
- 小文字を含む
- 数字を含む
- #、%、^などの記号を含む

インストールする機能を選択する

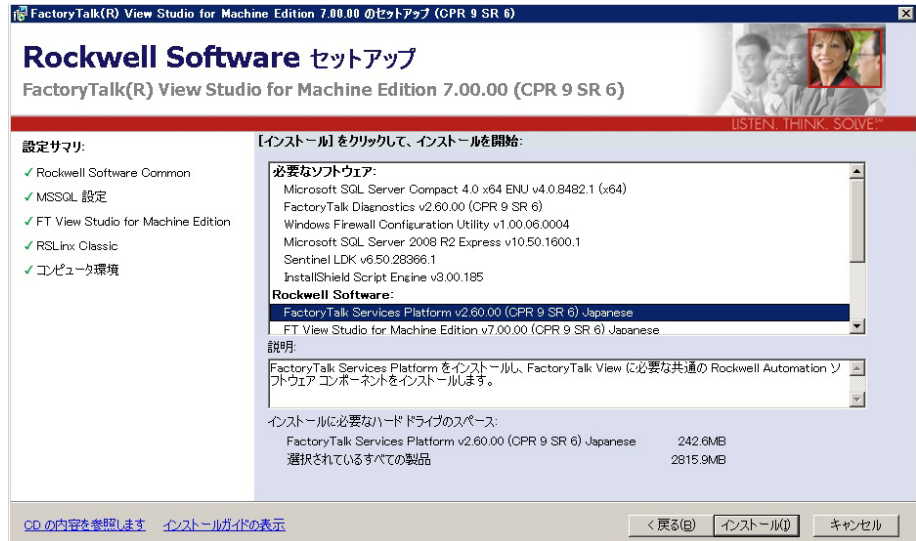
カスタム セットアップを選択した場合、オプションの機能が利用可能であればこの画面が表示されます。



機能 (通常はでもアプリケーションとヘルプ) はオプションです。インストールしたいデバイスを選択して [次へ] をクリックします。

インストールの準備完了

すべての選択を行ったら、セットアップウィザードにインストールする前提条件および Rockwell ソフトウェアが表示されます。



- 設定のサマリには、インストール プロセスに含まれるソフトウェアが表示されます。
- 前提条件ソフトウェアは、Rockwell ソフトウェア アプリケーションをサポートするため、コンピュータで必要となります。
- **Rockwell Software**アプリケーションは、スタンドアロンマシン レベルのアプリケーションを広げるよう作られた、監視および制御ソリューションの統合パッケージ製品です。

前提条件のいずれかまたは Rockwell Software をクリックすると、[説明] ウィンドウに説明が表示されます。画面の下には選択したアプリケーションに必要なハードディスク容量と、インストールするすべての製品に必要な空き容量が表示されます。

先へ進む準備が整ったら、[インストール] をクリックします。

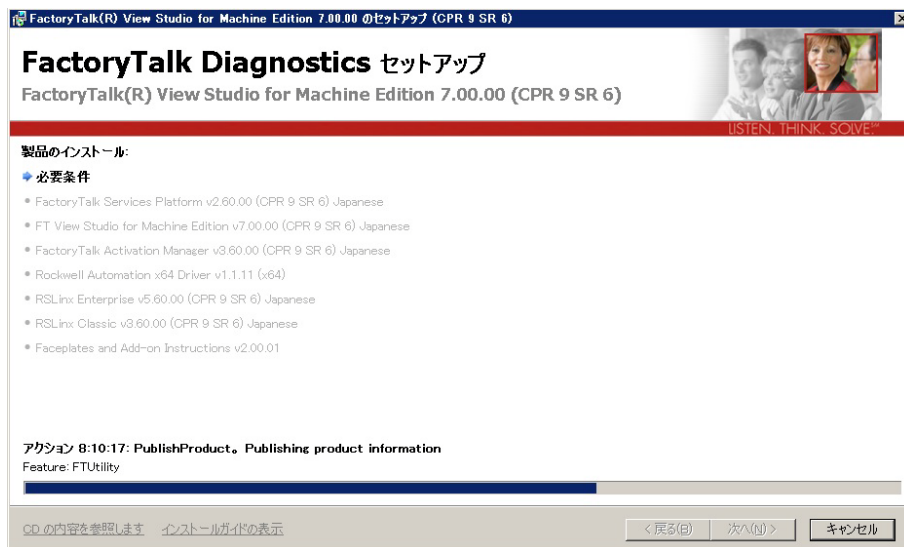
前提条件の自動インストール

FactoryTalk View セットアップ ウィザードは自動的に必要なアプリケーションを検出し、コンピュータ上にないものをインストールします。各前提条件のインストール中、希望すれば**キャンセル**を選択することもできます。

- .NET Framework 3.5 Service Pack 1
- FactoryTalk Diagnostics
- Windows ファイアウォール設定ユーティリティ
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Express for the HMI tag database
- Sentinel LDK
- Microsoft SQL Server Compact

必要な Rockwell Software のインストール

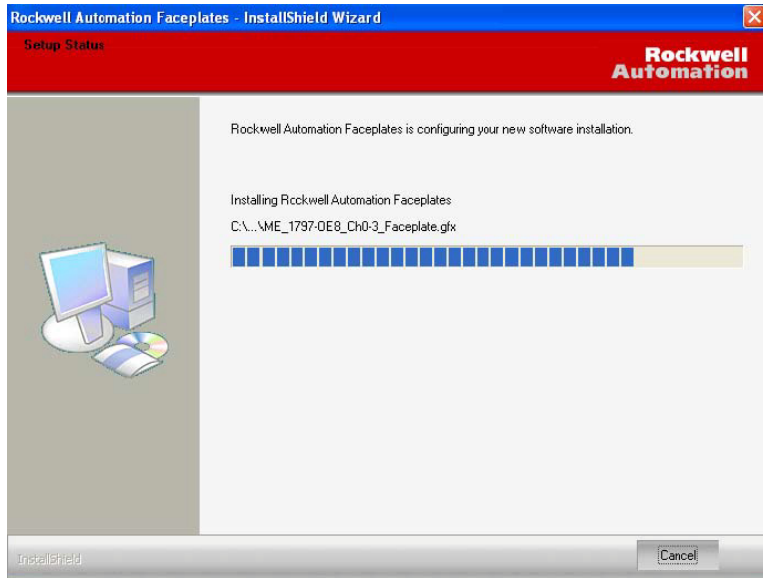
前提条件をインストールした後、セットアップ ウィザードは前に選択されたすべての Rockwell ソフトウェアを自動的にインストールします。インストールは自動的に行われ、ユーザーから入力を行う必要はありません。





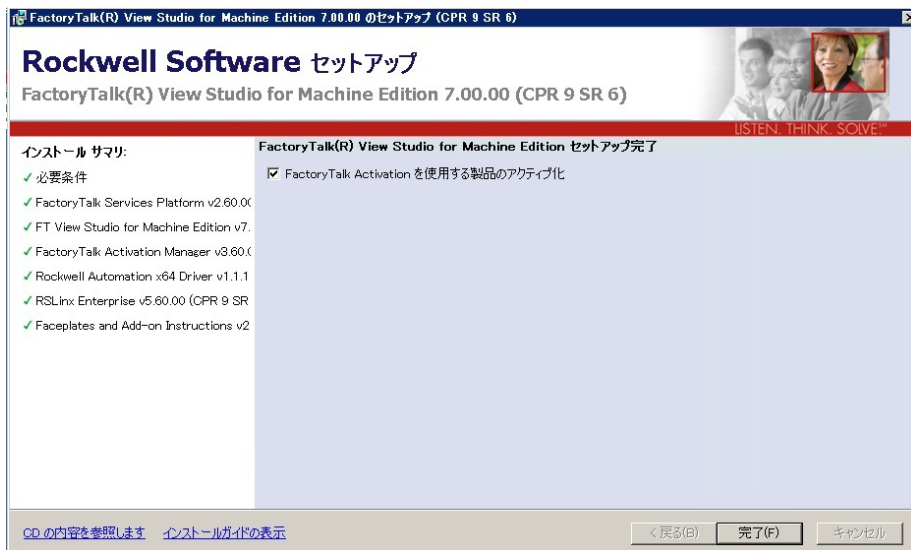
Faceplates and Add-On Instructions

Faceplates and Add-On Instructions は、インストールするアプリケーションによって推奨またはオプションです。このアプリケーションを選択すると自動的にインストールします。



FactoryTalk View のインストールを完了するには

FactoryTalk View ソフトウェアのインストールが完了すると、[セットアップの完了] ダイアログ ボックスが開きます。



インストールされたコンポーネントのアクティベーションへ直接進むには、[終了] をクリックします。[FactoryTalk アクティベーションを使用して製品をアクティベートする] のチェックボックスをオフにして、アクティベートせずに終了することもできます。29 ページの「FactoryTalk View ソフトウェアのアクティベート」を参照してください。

アクティベーションを開始する前にコンピュータを再起動するよう求めるメッセージが表示されます。



インストール後の手順

FactoryTalk View Machine Edition がインストールされた後、最終的な手順が必要となる場合があります。

- 27 ページの「製品アップデートのインストール」
- 29 ページの「FactoryTalk View ソフトウェアのアクティベート」
- 32 ページの「SQL Server 2008 Express インスタンスを作り直す」(必要な場合のみ)

製品アップデートのインストール

FactoryTalk View コンポーネントのいずれかをインストールした後、システム上のソフトウェア製品のパッチを探し、インストールする必要があります。パッチを検索するには、Rockwell Automation ナレッジベースで「パッチ TOC」(目次)を検索します。TOC には、お使いのソフトウェアで利用可能なすべてのパッチが表示されます。<http://rockwellautomation.custhelp.com/> へ移動し、[ナレッジベース検索] タブを選択します。

パッチ TOC は、特定の製品およびバージョンについてリリースされた更新を説明し、ソフトウェアがインストールされているコンピュータに更新をダウンロードおよびインストールするための手順を提供するものです。

Studio for Machine Edition、FactoryTalk Services Platform、RSLinx Enterprise、および RSLinx Classic など、インストールされた各製品には独自のバージョン固有のパッチ TOC があります。

Rockwell Automation ナレッジベースのパッチ TOC を検索するには

1. Web ブラウザのアドレス バーで「<https://rockwellautomation.custhelp.com/>」と入力し、**Enter** を押します(登録またはログインが必要となる場合があります)。

2. Rockwell Automation サポートセンター ページで、[ナレッジベース検索] タブの下矢印をクリックします。[製品別] をクリックします。

The screenshot shows the Rockwell Automation Support Center homepage. At the top, there is a navigation bar with the Rockwell Automation logo and the tagline "LISTEN. THINK. SOLVE!". Below the logo, there is a "Welcome David Chamberlain" message and a "Change Language" dropdown. The main navigation bar includes "Search Knowledgebase", "Explore Forums", "Submit Questions", "Chat Live", "Find My Stuff", and "Get Help". The "Search Knowledgebase" dropdown menu is open, showing options: "By Keywords", "By Product" (highlighted with a red box and an arrow), "By Answer ID", "Search Tips", and "Genius Webinars". Below the dropdown, there is a "Submit Request" button. The main content area features the heading "Technical Issues Quickly and Accurately" and a list of quick links: "Access the public forums", "Get help with master disks & activations", "Download patches, firmware & drivers", and "Manage & organize your account".

3. [ソフトウェア] までスクロールし、[FactoryTalk View ME] をクリックします。[検索] ボックスで、[パス TOC] と入力し、[検索] をクリックします。

The screenshot shows the Rockwell Automation Support Center search results page. The search box contains the text "patch TOC" and is highlighted with a red box. Below the search box, there is a "Search filters applied" section with "Product" selected and "FactoryTalk View SE" chosen from a dropdown menu. The search results show "Results 1 - 10 of 3291" and a link to "466418 - FactoryTalk View - Patch Roll-up for CPR9 SRx". Below the link, there is a description: "Click on the link below to download the latest FTView Patch Roll-up (Latest - Sep.03.2012) Download the latest patch roll-up here Important Note: As of December 5, 2011, there are no longer..." and "Access Level: Everyone".

検索結果から、FactoryTalk View DVD からインストールしたすべての製品に関連するパッチ TOC を探してください。必要に応じて、次のような最近インストールされたその他のアプリケーションに対し、追加の検索を行います。

- FactoryTalk Services Platform
- RSLinx Enterprise
- RSLinx Classic

FactoryTalk View ソフトウェアのアクティベート

FactoryTalk View Machine Edition およびその他の Rockwell Automation 製品を継続して使用するには、ソフトウェアを実行しているコンピュータがアクティベーションファイルにアクセスできる必要があります。PanelView Plus、PanelView Plus CE、および PanelView Plus 6 端末では、アクティベートは必要ありません。

FactoryTalk View ソフトウェア コンポーネントに対するアクティベーションを管理および提供するには、FactoryTalk View と一緒にインストールされた FactoryTalk Activation Manager ソフトウェアを使用します。

FactoryTalk Activation について

FactoryTalk Activation は Rockwell Automation 製品をアクティブ化し、ソフトウェアのアクティベーションファイルを管理する、セキュアなソフトウェア ベースのシステムを提供します。

FactoryTalk Activation では、アクティベーションファイルは電子的に生成、配布されるため、物理的な「マスタ ディスク」や物理メディアは必要ありません。

FactoryTalk View 製品は 2 種類のアクティベーションを使用します。

- **フローティング**同時アクティベーションはネットワーク上のアクティベーション サーバーからチェックアウトされ、継続的なネットワーク接続を必要とします。
- **借用**同時アクティベーションはネットワーク上のアクティベーション サーバーからチェックアウトされた期限切れアクティベーションであり、継続的なネットワーク接続は必要ありません。



その他の Rockwell Automation 製品が使用できるアクティベーションのタイプについては、FactoryTalk View Activation Manager 製品マニュアルを参照するか、最寄の Rockwell Automation 営業所にお問い合わせください。

FactoryTalk View がアクティベートされていない場合

たとえば、アクティベーションサーバーが利用できないため、または借用アクティベーションが失効したためにインストールした FactoryTalk View コンポーネントをアクティブ化できない場合、ソフトウェアはコンピュータ上で最大7日間実行し続けます。

7日間の猶予期間により、重要なアプリケーションを中断することなく、アクティベーション取得の問題を修正するための時間が与えられます。アクティベーションが7日間以内に復元されると、通常の動作を再開します。

アクティベーションが復元されないと、猶予期間が期限切れになります。猶予期間の期限が切れた後、FactoryTalk View ME を再起動したときにアクティベーションがまだ使用できない状態にある場合、ソフトウェアは2時間デモモードで実行されます。デモモードでは2時間のみ、5ディスプレイ以下(3つのディスプレイを含む)のみを使用できます。

開発コンピュータ用にアクティベーションを借用する

アクティベーションサーバーが存在するネットワークに接続されたままになっていることが開発コンピュータにとって都合が悪い場合は、アクティベーションサーバーに一時的に接続して一定時間のみ同時アクティベーションを借用してから切断することが可能です。制限アクティベーションが失効すると、関連するソフトウェアはアクティブ化されなくなり、アクティベーションが自動的にサーバーのアクティベーションプールから再び利用可能な状態になります。

借用できるのは FactoryTalk View Studio アクティベーションのみです。ネットワークから切断されたアプリケーションの開発中は、FactoryTalk View Studio アクティベーション キーはアプリケーション内のクライアントおよび HMI サーバーによって共有され、すべての必要なコンポーネントを開発用に実行することが可能になります。



借用アクティベーションを使用するには、借用アクティベーションが使用されるすべてのサーバーおよびクライアントコンピュータ上で FactoryTalk Activation 3.30 以降 (FactoryTalk 製品の DVD に付属) にアップグレードする必要があります。



FactoryTalk View ソフトウェア コンポーネントのアクティベーション キー

Rockwell Automation アクティベーション Web サイトからダウンロードするアクティベーションファイルには、購入したアクティベーション キーが暗号化された形式で含まれています。アクティベーション キーは、FactoryTalk View コンポーネントをアクティブ化するソフトウェアです。

異なるコンポーネントには異なるキーが必要です。例えば、FactoryTalk View ME Station は ME Station アクティベーション キーを使用します。

FactoryTalk View Machine Edition 製品により使用されるアクティベーション キーの一覧は、以下のとおりです。



アプリケーションでのその他の Rockwell Automation 製品のアクティブ化に必要なキーについての情報は、製品マニュアルを参照してください。

このソフトウェア製品またはコンポーネントをアクティブ化するには	以下のキーを使用します
FactoryTalk View Studio for Machine Edition アプリケーションのみ	RSVME.STUDIO
FactoryTalk View ME Station (ローカル アプリケーション)、250 ディスプレイ	RSVME.250
FactoryTalk View ME Station、75 ディスプレイ	RSVME.RUN
FactoryTalk View ME Station、25 ディスプレイ	RSVME.30
FactoryTalk View ME Station、15 ディスプレイ	RSVME.15

複数のソフトウェア コンポーネント間でキーを共有する

同じコンピューター上で実行されている FactoryTalk View Studio の複数のインスタンスは、コンポーネントが Terminal Services セッションで実行されていない限り、1つのキー (RSV.STUDIO) を使用できます。

SQL Server 2008 Express インスタンスを作り直す

SQL Server 2008 Express インスタンス *FTVIEWx64TagDB* は、FactoryTalk View Studio ME がアクセスするすべての FactoryTalk View ME タグ データを保存します。SQL Server 2008 Express インスタンス *FTVIEWx64TagDB* をアンインストールして再インストールする必要がある場合にのみ、SQL Server 2008 Express インスタンス *FTVIEWx64TagDB* を手動で作り返す必要があります。

ユーザーがまだ実行していない場合は SQL サーバー インスタンスを作り直すよう求めるメッセージが表示される。要求されない限り、SQL Server 2008 Express インスタンスを作り直す必要はありません。

SQL Server 2008 Express インスタンスを作り直すには

1. 必要があれば、すべての開いている Windows プログラムを閉じて、コンピュータの FactoryTalk View DVD ドライブに DVD を挿入してください。
2. 起動しない場合は **D:\FTView\Redist\SQLServer2008\SQLServerInstall.exe** を実行してください。ここで D:\ は DVD を含むドライブを意味します。



この手順では Windows Installer 4.5 および .NET Framework 3.5 SP1 が必須です。

3. SQL Server インストール ウィンドウに SA アカウントのパスワードを 2 回入力し、[OK] をクリックします。[ガイドライン] をクリックして SQL SA 強力なパスワードの使用ガイドラインのクイックリファレンスを見るか、20 ページを参照してください。
4. ソフトウェアのインストールを完了するには、ウィザードの指示に従ってください。

インストールのサマリ

32 ビットの実行中のオペレーティング システムを実行中の場合、セットアップ ウィザードは以下の操作を行います。



64 ビットの実行中のオペレーティング システムを実行中の場合、ソフトウェアは \Program Files (x86) ディレクトリの下と同じパスを経由してインストールします (\Program Files ではない)。

- FactoryTalk Services Platform の共有コンポーネントのインストール。
- FactoryTalk View Studio ME または FactoryTalk View ME Station の **\Program Files\Rockwell Software\RSView Enterprise** へのインストール。このフォルダには、FactoryTalk View Studio ソフトウェアおよびツールが含まれます。

- Microsoft SQL Server 2008 R2 Express の **\Program Files\Microsoft SQL Server** へのインストール。このフォルダには Microsoft SQL ファイルが含まれます。
- RSLinx Enterprise の **\Program Files\Rockwell Software\RSLinx Enterprise** へのインストール。このフォルダには、RSLinx Enterprise ファイルが含まれます。
- RSLinx Classic の **\Program Files\Rockwell Software\RSLinx** へのインストール (オプション)。このフォルダには、RSLinx Classic ファイルが含まれます。
- グラフィック オブジェクトで使用するビットマップ イメージ ファイルを含むフォルダの追加。このフォルダは以下に格納されています。
 - (Windows XP および Windows Server 2003) **\Documents and Settings\All Users\Shared Documents\RSView Enterprise\Images**
 - (Windows 7 Professional、Windows Vista および Windows Server 2008) **\Users\Public\Public Documents\RSView Enterprise\Images**
- FactoryTalk View Studio のサンプル アプリケーションが含まれ、構築されたアプリケーションが保存されるフォルダの追加。このフォルダは以下に格納されています。
 - (Windows XP および Windows Server 2003) **\Documents and Settings\All Users\Shared Documents\RSView Enterprise\ME\HMI projects**
 - (Windows 7 Professional、Windows Vista および Windows Server 2008) **\Users\Public\Public Documents\RSView Enterprise\ME\HMI projects**
- ライブラリ ディスプレイで使用するグラフィック ライブラリのコンポーネント ファイルおよびイメージ ファイルを含むフォルダの追加。このファイルは以下に格納されています。
 - (Windows XP および Windows Server 2003) **\Documents and Settings\All Users\Shared Documents\RSView Enterprise\ME\Libraries**
 - (Windows 7 Professional、Windows Vista および Windows Server 2008) **\Users\Public\Public Documents\RSView Enterprise\ME\Libraries**
- (オプション) Logix 5000 プロセス フェースプレートで使用するグラフィック ディスプレイ、グローバル オブジェクト ディスプレイおよびイメージ ファイルが含まれるフォルダの追加。このフォルダは以下に格納されています。
 - (Windows XP および Windows Server 2003) **\Documents and Settings\All Users\Shared Documents\RSView Enterprise\ME\Faceplates**
 - (Windows 7 Professional、Windows Vista および Windows Server 2008) **\Users\Public\Public Documents\RSView Enterprise\ME\Faceplates**

3

PanelView Plus、PanelView Plus CE および PanelView Plus 6 端末での FactoryTalk View ME Station の実行

この章では、以下について説明します。

- システム要件
- FactoryTalk View ME Station および関連するソフトウェアの再インストール
- FactoryTalk View ME Station の起動とサンプルアプリケーションの使用

システム要件

PanelView Plus、PanelView Plus CE、および PanelView Plus 6 産業用コンピュータで FactoryTalk View ME Station を実行するための最小要件はつぎのとおりです。

	PanelView Plus および PanelView Plus CE	PanelView Plus 6 - 400 または 600	PanelView Plus 6 - 700 ~ 1500
使用できるメモリ (RAM)	64 MB	256 MB	512 MB
フラッシュストレージ の空き容量	32 MB	512 MB	512 MB
オペレーティング シス テム: Microsoft Windows CE	4.1	6.0	6.0

詳細については、FactoryTalk View Machine Edition と互換性のあるすべての端末のインストール、設定およびプログラミングに関する情報は PanelView Plus Terminals ユーザーズマニュアル、発行 2711P-UM001 を参照してください。

インストール

PanelView Plus、PanelView Plus CE、および PanelView Plus 6 端末にはすべて FactoryTalk View ME Station がインストール済みです。

起動

FactoryTalk View ME Station を手動で起動するか、または端末の電源投入時にプログラムが自動的に起動するように設定することもできます。

1. 端末のデスクトップで **FTView ME Station** アイコンをダブルクリックします。
2. `\Windows\MERuntime.exe` を見つけて **MERuntime.exe** をダブルクリックします。FactoryTalk View ME Station ダイアログ ボックスが開きます。

自動起動

PanelView Plus、PanelView Plus CE、または PanelView Plus 6 端末の電源投入時に FactoryTalk View ME Station が自動的に起動し、特定のアプリケーションを実行するように設定することができます。

アプリケーションの実行

PanelView Plus 6、PanelView Plus、または PanelView Plus CE 端末でアプリケーションを実行する前に、必ずアプリケーションを端末に移動させてください。

アプリケーションの PanelView Plus 端末への移動と実行の準備に関する詳細については、『FactoryTalk View Machine Edition ユーザーズ マニュアル』の第 16 章、「アプリケーションの PanelView Plus または PanelView Plus CE 端末への移動」を参照してください。

サンプル アプリケーションの使用

FactoryTalk View Studio for Machine Edition (ME) には、製品の特徴を強調するサンプルアプリケーションが用意されています。これらのアプリケーションの大部分には、2 つの異なる画面解像度のために設計された、2 つの実行時バージョンがあります。

例:

- objects_640x480.mer
- objects_800x600.mer



サンプルアプリケーションは開発用コンピュータ (FactoryTalk View Studio がインストールされているコンピュータ) の以下のパスにあります。

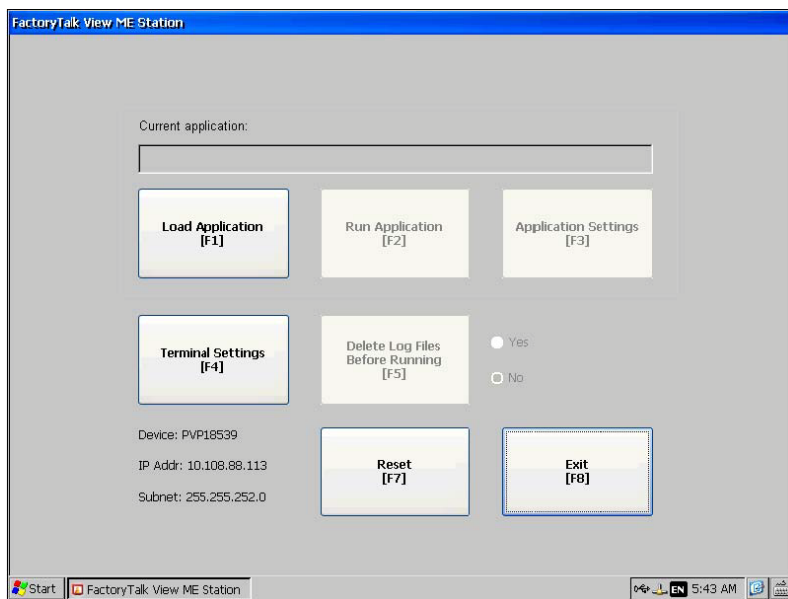
- (Windows XP および Windows Server 2003) \Documents and Settings\All Users\Documents\RSView Enterprise\ME\HMI projects
- (Windows 7 Professional、Windows Vista および Windows Server 2008) \Users\Public\Documents\RSView Enterprise\ME\HMI projects

HMI プロジェクトには、各サンプルアプリケーションのフォルダがあります。

サンプルの実行時アプリケーションを実行するには、以下の手順に従ってください。

1. FactoryTalk View Studio ME を起動します。
2. サンプルアプリケーションを開きます。
3. [アプリケーション]メニューから、[ランタイムアプリケーションを作成する]を選択します。
4. 必要に応じて、[ファイル名] ボックスでアプリケーションファイルに別の名前を入力します。デフォルトのファイル名は、開発アプリケーションと同じ名前です。
5. [名前を付けて保存] ボックスで、アプリケーションをどのバージョンの ME Station で実行するかを選択します。デフォルトの設定は「Runtime 7.0 アプリケーション (*.mer)」です。
6. [開発アプリケーションへ変換] フレームで、変換オプションを選択します。デフォルトの設定は [常に変換を許可する] です。このオプションを選択している場合、.med ファイルの生成には毎回 .mer ファイルを使用することができます。
7. [保存] をクリックします。
8. アプリケーションの .mer ファイルを PanelView Plus、PanelView Plus CE、または PanelView Plus 6 端末に移動し、アプリケーションの実行の準備をします。

9. まだ開いていない場合は、**FactoryTalk View ME Station** を起動します。



10. [FactoryTalk View ME Station] ダイアログ ボックスで、[アプリケーションのロード] をクリックします。
11. サンプルアプリケーションの .mer ファイルを選択し、[ロード] をクリックします。
12. 端末の現在の通信設定をアプリケーションの通信設定に置き換える場合は、[はい] をクリックします。[いいえ] をクリックすると、端末の現在の通信設定が保持されます。
- [はい] をクリックすると、端末の設定が、アプリケーションの RSLinx Enterprise 通信設定で置き換えられます。新しい設定によりシステム フォルダの設定が上書きされることが警告されます。
13. 既存の設定を上書きする場合は、[はい] をクリックします。既存の設定を保持する場合は、[いいえ] をクリックします。
- アプリケーション名が、[FactoryTalk View ME Station] ダイアログ ボックスの [現在のアプリケーション] フィールドに表示されます。
14. アプリケーションを実行するには、[アプリケーションの実行] をクリックします。



端末のアップグレード

必要な場合は、ファームウェア アップグレード ウィザードを使って、PanelView Plus、PanelView Plus CE、および PanelView Plus 6 端末で FactoryTalk View ME Station を再インストールまたはアップグレードします。ウィザードは、FactoryTalk View ME Station と RSLinx Enterprise、およびその他のプログラムを再インストールします。



ファームウェアのアップグレードに何が含まれるかについては、Rockwell Automation Knowledgebase の Answer ID 33326 (旧称、技術文書 #Q154160016) を参照してください。

ファームウェア アップグレード ウィザードを使って、以下が実行できます。

- 使用中の端末へ差し込むことができるファームウェアのアップグレードカードを作成します。
- ネットワークによりパソコンに接続された端末 (PanelView Plus、または PanelView Plus CE、または PanelView Plus 6 のいずれか) のファームウェアの更新

ファームウェア アップグレード ウィザードを起動するには、以下の手順に従ってください。

1. 開発用コンピュータの Windows の [スタート] メニューから、[プログラム]> [Rockwell Software]> [FactoryTalk View]> [ツール]> [ME ファームウェア アップグレード ウィザード] をクリックします。

開発用コンピュータとは、FactoryTalk View Studio がインストールされたコンピュータのことです。

2. ウィザードの指示に従って、端末のファームウェアを再インストールまたはアップグレードします。
3. 詳細については、ファームウェア アップグレード ウィザードのヘルプを参照してください。ファームウェア アップグレード ウィザードのインストールおよび使用に関する情報は、Rockwell Automation Knowledgebase の Answer ID 25776 (旧称、技術文書 #A53040474) にもあります。

4

PC での FactoryTalk View ME Station の実行

この章では、以下について説明します。

- システム要件
- FactoryTalk View ME Station のインストール
- FactoryTalk View ME Station の起動とサンプルアプリケーションの使用

システム要件

FactoryTalk View Machine Edition Station を実行するための推奨要件は、以下のとおりです。

- パソコン Intel Pentium 4 プロセッサ (2 GHz 以上推奨)。
- メモリ (RAM)。1 GB (以上)、32 ビットシステム用 64 ビットオペレーティングシステムでは 2 GB 以上必要です。
- ハードディスク領域。1.5 GB 以上。
- オペレーティング システム。



FactoryTalk View Station は、オリジナルの Microsoft メディアからインストールされたオペレーティング システムでのみ検証およびサポートされています。コンピューターベンダーによってインストールされたオペレーティングシステムについては、「ナリッジベース記事 26842」を参照してください。

オペレーティング システム	32 ビット	64 ビット
Windows 7 Ultimate (Service Pack 1)		X
Windows 7 Professional	X	X
Windows 7 Professional (Service Pack 1)	X	X
Windows 7 Enterprise Edition (Service Pack 1)		X
Windows Server 2008 R2 Standard Edition		X
Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition (Service Pack 1)		X
Windows Server 2008 R2 Standard Edition (Service Pack 1)		X

オペレーティング システム	32 ビット	64 ビット
Windows Server 2008 Standard Edition (Service Pack 2)	X	X
Windows Vista Business (Service Pack 2)	X	
Windows XP Professional (Service Pack 3)	X	
Windows Server 2003 R2 Standard Edition (Service Pack 2)	X	X

インストール

7 ページの「パソコンでの FactoryTalk View のインストールとアクティベート」を参照してください

起動

FactoryTalk View ME Station を手動で起動するか、あるいは Microsoft Windows が起動した際にプログラムが自動的に起動するように設定できます。

FactoryTalk View ME Station をパソコンで起動するには、以下の手順に従ってください。

- Windows の [スタート] メニューから、[プログラム]> [Rockwell Software]> [FactoryTalk View]> [FactoryTalk View ME Station] をクリックします。

自動起動

Microsoft Windows の起動時に FactoryTalk View ME Station が自動的に起動し、特定のアプリケーションを実行するように設定することができます。

アプリケーションの実行

コンピューターでアプリケーションを実行する前に、必ずアプリケーション .mer ファイルをコンピューターに移動させてください。

サンプル アプリケーションの使用

FactoryTalk View Studio for Machine Edition には、製品の特徴を強調するサンプルアプリケーションがっています。これらのアプリケーションの大部分には、2つの異なる画面解像度のために設計された、2つの実行時バージョンがあります。

例:

- objects_640x480.mer
- objects_800x600.mer

サンプルアプリケーションは開発用コンピュータ (FactoryTalk View Studio がインストールされているコンピュータ) の以下のパスにあります。

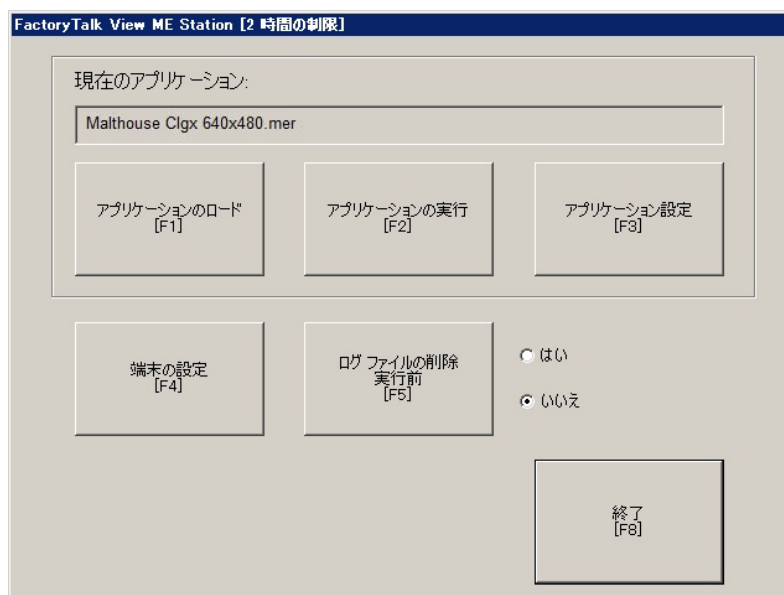
- (Windows XP および Windows Server 2003) \Documents and Settings\All Users\Documents\RSView Enterprise\ME\HMI projects
- (Windows 7 Professional、Windows Vista および Windows Server 2008) \Users\Public\Public Documents\RSView Enterprise\ME\HMI projects

HMI プロジェクトには、各サンプルアプリケーションのフォルダがあります。

サンプルの実行時アプリケーションを実行するには、以下の手順に従ってください。

1. FactoryTalk View Studio ME を起動します。
2. サンプルアプリケーションを開きます。
3. [アプリケーション] メニューから、[ランタイムアプリケーションを作成する] を選択します。
4. 必要に応じて、[ファイル名] ボックスでアプリケーションファイルに別の名前を入力します。デフォルトのファイル名は、開発アプリケーションと同じ名前です。
5. [名前を付けて保存] ボックスで、アプリケーションをどのバージョンの ME Station で実行するかを選択します。デフォルトの設定は「Runtime 7.0 アプリケーション (*.mer)」です。
6. [開発アプリケーションへ変換] フレームで、変換オプションを選択します。デフォルトの設定は [常に変換を許可する] です。このオプションを選択している場合、.med ファイルの生成には毎回 .mer ファイルを使用することができます。
7. [保存] をクリックします。
8. FactoryTalk View ME Station を起動します。

9. [FactoryTalk View ME Station] ダイアログ ボックスで、[アプリケーションのロード] をクリックします。
10. サンプル アプリケーションの .mer ファイルを選択し、[ロード] をクリックします。
11. 端末の現在の通信設定をアプリケーションの通信設定に置き換える場合は、[はい] をクリックします。[いいえ] をクリックすると、端末の現在の通信設定が保持されます。
 [はい] をクリックすると、コンピューターの設定が、アプリケーションの RSLinx Enterprise 通信設定で置き換えられます。新しい設定によりシステムフォルダの設定が上書きされることが警告されます。
12. 既存の設定を上書きする場合は、[はい] をクリックします。既存の設定を保持する場合は、[いいえ] をクリックします。



アプリケーション名が、[FactoryTalk View ME Station] ダイアログ ボックスの [現在のアプリケーション] フィールドに表示されます。

13. アプリケーションを実行するには、[アプリケーションの実行] をクリックします。